

転作田で採草利用に向く新牧草フェストロリウム「東北1号」

研究のねらい

温暖地や暖地の水田裏作や転作田で栽培されているイタリアンライグラスは、寒冷・積雪地では越冬が難しい。そこで、ライグラス類にフェスク類の越冬性を導入し、寒冷地水田等での栽培に適する耐湿性や収量性に優れたフェストロリウムの新品種を育成する。

成果の内容

- ①フェストロリウムの新品種「東北1号」は、寒冷地に適する多年生の高品質の牧草である。導入品種「パーフェスト」、「エバーグリーン」と比べて、3年間6場所平均で約10%多収である(図1)。耐湿性にも優れ、転作田等での栽培に向く。
- ②寒冷地の採草用主要牧草オーチャードグラス「キタミドリ」、多年生ライグラス「ハイフローラ」と畑条件で比べても、「東北1号」は3カ年合計収量が同等以上、乾物消化率が「キタミドリ」より優れ、雪腐病抵抗性と秋の被度において「キタミドリ」より劣るものの、「ハイフローラ」よりも優れる(表1)。

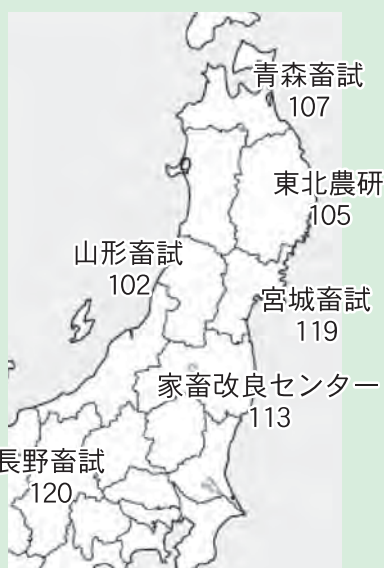


図1 各地における採草条件での「東北1号」の乾物収量比

(数字は既存品種「パーフェスト」の収量を100とする指数、家畜改良センターは播種後2カ年、他は3カ年合計による)

表1 東北1号と既存の草種・品種の特性 (育成地)

品種・系統	草種 ¹	乾物収量比 ²	in-vitro乾物消化率 ³	雪腐病 ⁴ 抵抗性	秋の被度 ⁵
東北1号	FL	105	45.1	中	83
キタミドリ	OG	100	39.0	強	95
ハイフローラ	HR	102	44.9	弱	71

1) FL=フェストロリウム、OG=オーチャードグラス、HR=ハイブリッドライグラス 2) 3カ年合計乾物収量のパーフェストの値を100としたときの指数 3) 利用2年目2~4番草の平均値(%) 4) 播種翌年融雪後の罹病程度 5) 利用3年目最終刈後の被度(%)、被度は牧草による土壌表面の被覆程度で、この場合永續性の指標になる。



東北1号の草姿

成果の利活用

- ①家畜改良センター長野牧場で種子増殖中で、22年秋播用から種子が販売される見込みである。

